

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（2号機原子炉格納容器内部詳細調査）に係る面談
2. 日時：令和2年6月18日（木）14時30分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
知見主任安全審査官、松井安全審査官、高木技術参与
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
福島第一原子力発電所 担当2名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社から、実施計画の変更認可申請（2号機原子炉格納容器内部詳細調査）に係る全体計画、作業概要等について、過去の面談資料等に基づき主に以下の説明があった。

- 2号機原子炉格納容器（PCV）内部詳細調査の計画について
 - ✓ 過去の内部調査の結果を踏まえ、ペDESTAL内の地下階における構造物及び堆積物の分布等を把握するための調査を計画
 - ✓ 調査項目として、パンチルトカメラによる「詳細目視」、レーザ距離計による「ペDESTAL内3次元形状測定」、検出器を用いた堆積物表面の「中性子束測定」及び「ガンマ線線量率測定」を実施し、燃料デブリの取り出し方法、堆積物の取扱い方法等の検討に反映する予定
 - ✓ アクセSRUートとして、ペDESTAL内に直接アクセス可能なX-6ペネトレーション（以下「X-6ペネ」という。）を選定
 - ✓ アクセス・調査装置として、ペDESTAL内を広範囲に調査可能な多関節アームを採用
- 2号機PCV内部詳細調査の作業ステップについて
 - ✓ 現在X-6ペネに設置されている隔離機構ユニットの取り外しから、X-6ペネ閉止板の開放、X-6ペネ内堆積物の除去、エンクロージャの設置、調査装置の投入、干渉物の撤去、調査の実施及び調査装置・エンクロージャの撤去までの各作業ステップにおける、作業手順、装置の取り合い、バウンダリの範囲等
- 1号機PCV内部調査アクセSRUート構築作業時のダスト対策状況について
 - ✓ 1号機でのアプレシブウォータージェット（AWJ）による内扉のせん孔作業で得られた知見を、2号機でのAWJ作業によるダスト発生量の評価やダスト発生を抑制するための運用に反映する予定

○原子力規制庁は、上記説明を受けた内容について確認するとともに、2号機PCV内部の現在の状況及び内部詳細調査のスケジュールについて説明すること等を求めた。

6. その他

資料：

- 福島第一原子力発電所 2号機原子炉格納容器内部詳細調査 補足説明資料
- 福島第一原子力発電所 2号機原子炉格納容器内部詳細調査 作業ステップ

について

- 1号機PCV内部調査アクセスルート構築作業におけるダスト対策状況について
- 燃料デブリ取り出しの検討状況について